

胸高直径8 cmほどのコナラ衰弱木にいたものを採集した。体が大きいためか、他のムツボシタマムシ類のように活発ではなかった。

谷角素彦氏の御教示によると、兵庫県では三木市で採集されているが、但馬では初記録ということである。発表を勧められた同氏にお礼を申し上げる。

参考文献

黒澤良彦 (1985) 原色日本甲虫図鑑 (Ⅲ)。保育社。

但馬におけるナカネアメイロカミキリ・ タイワンメダカカミキリの採集例

前平照雄

筆者は、但馬で未記録と思われる2種のカミキリを採集しているので、報告したい。

ナカネアメイロカミキリ *Obrium nakanei* (写真1)

1 ♀, 1986-VI-29, 兵庫県出石郡出石町三木, 前平照雄採集

本個体は、出石町三木にある製材所内で採集した。『日本産カミキリ大図鑑』によると、本種の兵庫県の分布は空白で、県下でも初記録になるものと思われる。なお、この個体は佐藤 (1987) によって *Obrium* であると指摘をうけ、谷角素彦氏に同定していただいたものである。両氏にお礼申し上げる。

タイワンメダカカミキリ *Stenhomalus taiwanus* (写真2)

39exs., 1987-V-18~VII-7, 兵庫県豊岡市下陰, 前平照雄採集

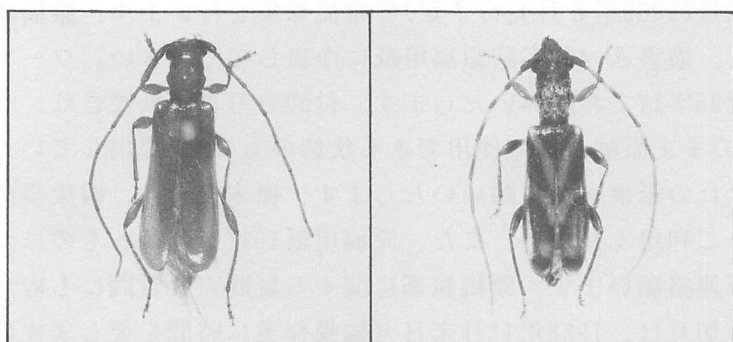


写真 1

写真 2

自宅の裏に植えていたサンショが枯れたため切り倒した際、無数にあいた2mm程度の穴から木屑が出ているのを発見。水槽に入れて保管しておいたところ、5月18日に1頭、22日に1頭、23日に3頭、26日に2頭、6月17日に3頭、19日に5頭、21日に6頭、23日に2頭、24日に3頭、25日に1頭、28日に8頭、7月1日に3頭、7日に1頭が羽化した。但馬における本種の記録は、高橋(1980)、磯野(1981)、加野(1982,1985a,1985b)、足立(1986)、佐藤(1987)のいずれにも見られない。

参考文献

- 高橋 匡(1980)但馬地方昆虫目録予報第3報, IRATSUME 4:13-27.
 磯野昌弘(1981)但馬地方西部のカミキリムシ, IRATSUME 5:28-35.
 加野 正(1982)但馬におけるカミキリムシ採集目録, IRATSUME 6:36-41.
 加野 正(1985a)但馬のカミキリムシⅡ, IRATSUME 8・9:130-139.
 加野 正(1985b)但馬のカミキリムシⅢ, IRATSUME 8・9:140-148.
 足立義弘(1986)但馬のカミキリムシ追加記録, IRATSUME 10:38-39.
 佐藤邦夫(1987)但馬地方のカミキリムシ, IRATSUME 11:72-90.